

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

智頭町長 金 兒 英 夫

市町村名 (市町村コード)	智頭町 (313289)
地域名 (地域内農業集落名)	口宇波地区 (口宇波集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

令和4年5月実施の農業・農地アンケート調査によると、地域内の農業者の平均年齢は70.3歳であり、町平均の70.1歳と比べて若干高くなっている。さらに、農業者の75%が後継者がいないと回答しており、地域内に後継者となりうる若年層は少なからずいるものの、農業に従事する意向がないというのが現状である。法面が広く傾斜もあり、草刈りなどの維持管理が負担になっている。また、圃場整備をしていないため、大型機械が入りにくく、作業を頼むことができない。獣害対策が十分ではないため、圃場へのシカの侵入が多い。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内で持っている機械を集め、耕作できる担い手が主となって農業を継続していくよう、検討する。水稲などの作付が困難になった場合は、牧草を植えるなどして、耕作放棄地にならないよう、農地を維持していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	9.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	7.3 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

智頭町大字口宇波(口宇波集落)地内で、小規模な畑を除き、現在耕作が行われている比較的条件の良い農用地とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針 地域内で話し合いを継続し、検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方針 状況にあわせて検討する。
(3)基盤整備事業への取組方針 必要に応じて検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針 JAや町などが協力して、オペレーターを確保する。 作業を受ける組織、人を作っていくよう働きかけたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 活用できる事業者があれば、検討する。

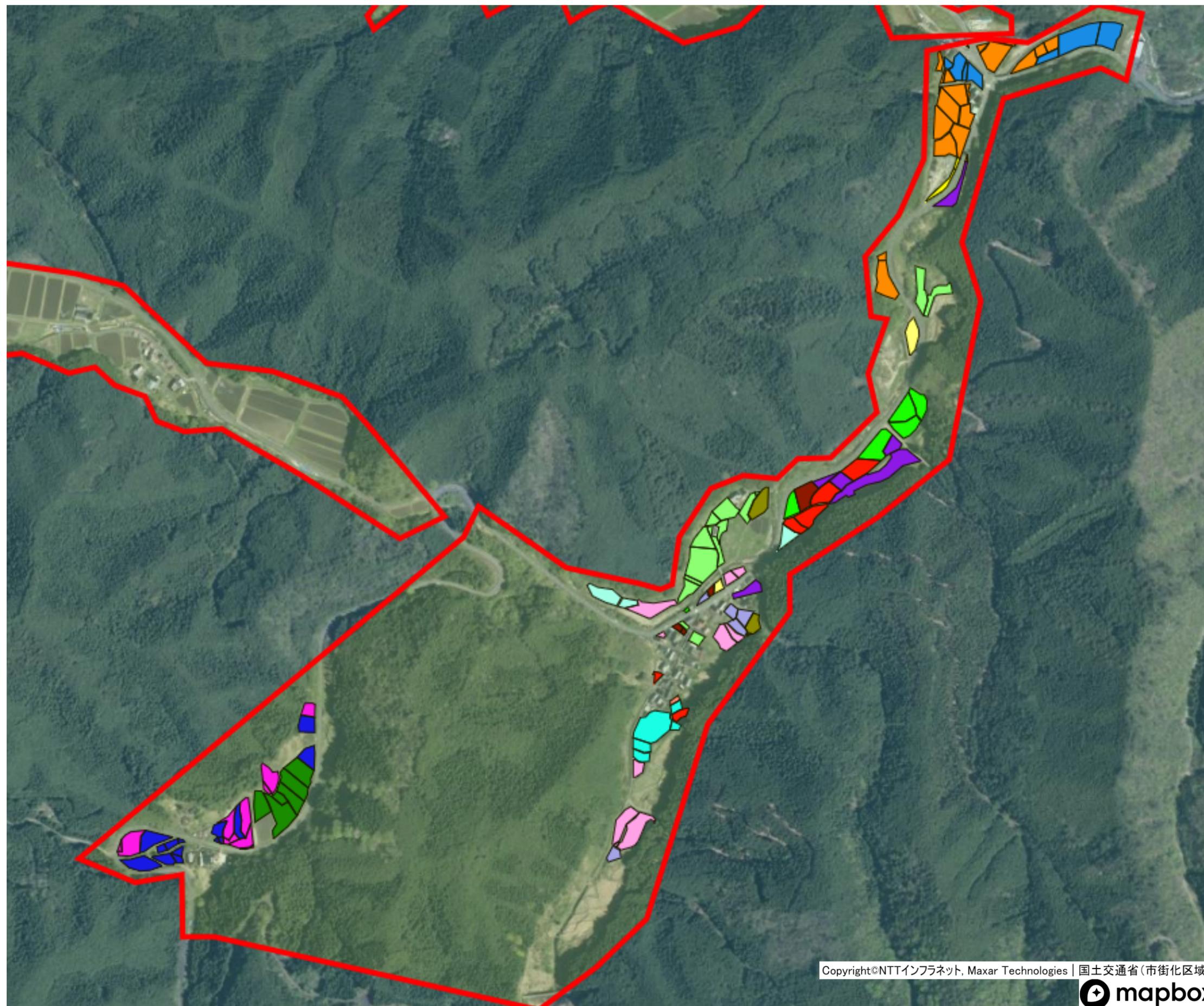
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①電柵を設置して、牧草を植える。(維持管理を畜産農家に依頼する)

口宇波地区目標地図



目標地図(確定)

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H
- I
- J
- K
- L
- M
- N
- O
- P
- Q
- R